

2019年度 関東支部運営委員会（第3回）議事録（案）

日時：2019年12月13日（金）9:30～12:00 会場：地盤工学会会館								
支部長	安田 進	○	副支部長	中込 淳	×	副支部長	坂上 敏彦	○
副支部長	小峯 秀雄	×	副支部長 発表会Gリーダー	長尾 俊昌	○	監事	北本 幸義	×
監事	高橋 章浩	×	幹事長	杉山 太宏	○	副幹事長	福原 誠	○
副幹事長	海野 寿康	○	山梨県G リーダー幹事	後藤 聰	×	茨城県G リーダー幹事	松島 亘志	×
栃木県G リーダー幹事	西村 友良	×	群馬県G リーダー幹事	若井 明彦	×	神奈川県G リーダー幹事	早野 公敏	×
千葉県G リーダー幹事	若月 洋朗	×	埼玉県G リーダー幹事	斎藤 健志	○	研究委員会G リーダー幹事	伊藤 和也	○
会員SG リーダー幹事	三上 武子	○	会員SG リーダー幹事	山中 光一	×	副支部長代理	三屋 龍一	×
全国大会	内村 太郎	×	オブザーバー	樋口 俊一	×	事務局	青木 美智子	○
栃木県G 代理	清木 隆文	○						

○：出席予定、×：欠席予定、△：遅刻予定、空欄：未定

委員会に先立ち安田支部長が挨拶を行った。

1. 前回議事録の確認

- ・2019年度第1回運営委員会議事録（9/12）【別紙-1】
- >内容を確認した。

2. 最近のスケジュール

- ・2019年度第1回商議員会：2019年10月4日（金）議事録【別紙-2】
- >内容を報告した。

なお、記載内容のうち「若手技術者交流セミナー」について次年度も企画総務Gと会員SGが準備をして開催する予定とし、今年度より早い5月開催を目指して早めに準備を行う。

- ・令和元年台風19号および10月末豪雨災害に関する中間報告会（地盤工学会関東支部）【別紙-3】
- ：2019年11月20日（水）

—>開催済であることを報告した。

- ・令和元年台風19号および10月末豪雨災害に関する中間報告会：2019年12月18日（水）
- >本部および土木学会で共催する報告会の開催予定を紹介した。

- ・2019年度第2回商議員会開催について（E-投票導入するか検討する）【別紙-2】
- >会計報告の審議時期の変更に伴い、電子会議での審議を行うものとする。会議の方法は、本部の会員データベースシステムの更新により電子投票機能が追加されるとの情報があるが導入時期が未定であることから関東支部ではE-投票を導入する。今後は以下のスケジュールで商議員へ審議を諮る。

2月後半：今年度活動報告、次年度活動予定、次年度名簿案、次年度予算案のE-投票を用いた審議→本部提出

4月中旬：今年度会計報告のE-投票を用いた審議→本部提出

- ・2020年度支部総会：2020年4月24日（金）
 - 特別講演会は神戸大学の荒川先生がお引受けいただけるか要確認
 - 開催日程を報告した。
- ・第17回地盤工学会関東支部発表会GeoKanto2020：2020年11月27日（金）
 - 次年度の開催日程を報告した。

3. 本部・他支部に関する連絡・報告・検討依頼事項

- | | | |
|------|--|---------|
| (1) | 学会誌会告掲載につきまして
→本部からの連絡内容を報告した. | 【別紙-4】 |
| (2) | 第22回「事業企画賞」候補案および審査員選出のお願い
→前回会議を経て「GeoKanto2018」を事業企画賞候補、審査員として清水浩之氏の選出を本部に提出済であることを報告した. | 【別紙-5】 |
| (3) | 「地盤工学会誌」優秀賞_2次選考委員選任のお願い
→今年度委員である荒井郁岳氏、斎藤健志氏の留任を報告した. | 【別紙-6】 |
| (4) | 第8期代議員の推薦について（12/10締切）
→17名の新任者、2名の他推薦者を加えた35名を本部に推薦したことを報告した. | 【別紙-7】 |
| (5) | 支部監査実施結果について
→本部からの支部監査結果における指摘事項を報告した。このうち委員の旅費交通費を関東支部では500円単位で支払っていたものを実費とする必要があり、下期の分より適用することとした. | 【別紙-8】 |
| (6) | 支部資金送金の送金日固定化のお願い
→本部からの依頼を報告した. | 【別紙-9】 |
| (7) | 令和元年台風19号による災害調査団について
→安田支部長より概要の報告があり、報告会資料のWeb公開も行う予定であり、
→今年度は災害調査に関する費用を計上していなかったため、次年度については予算計上を含めて災害時のルールづくりを行う. | 【別紙-10】 |
| (8) | 2019年度支部交付金（前期）について
→今年度の状況を報告した. | 【別紙-11】 |
| (9) | 令和元年度名誉会員推举候補者の推薦依頼（R2.1.15（水）締切）
→関東支部から遠藤邦彦氏、加倉井正昭氏、濱田政則氏を本部に推薦する. | 【別紙-12】 |
| (10) | 功労章受章候補者の推薦依頼（R2.1.15（水）締切）
→関東支部から伴夏男氏、和田陽一氏を本部に推薦する. | 【別紙-13】 |

4. 支部からの周知・連絡・検討事項

- | | | |
|-----|--|---------|
| (1) | 2020年度支部役員の変更・交代について
→今年度で任期満了の役員について報告した. | 【別紙-14】 |
| (2) | 商議員・参与の選出
→商議員を次年度交代の方には年明けに後任推薦依頼を送付する予定である. | 【別紙-15】 |

→次年度から参与に変更となる役員に対しては支部長名で別途書類を送付する。また、関東支部規程について「参与」の追記及び人數の「若干名」を削除する。

- (3) 2019年度地盤工学会関東応募2件、2020年1月10日（金） 関東支部賞内容説明会開催予定

→内容を報告した。

- (4) 支部長公募について 【別紙-16】

→次年度の支部長公募は12月末に公示し、締め切りを2月初めとする。複数名が応募した場合は商議員の投票で決める予定とする。

- (5) 2020年度予算と事業計画 【別紙-17】

→本部の会計システム変更に伴い、予算項目の区分が変わったことから事務局で今年度の支出分を区分しなおしたリストを提示した。今後、各グループに新項目区分の入力シートを送付して以下の予定で次年度計画を作成・提出する。

1月初旬：各グループからの事業計画・予算案提出

1月末：提出内容を企画総務G幹事会で確認後に安田支部長に最終確認

2月初旬：本部提出

- (6) 後援依頼：環境防災セミナー2020 【別紙-18】

→審議の上、後援が承認された。

- (7) 2019年度予算執行状況について（11月末現在） 【別紙-19】

→状況を報告した。今後、全国大会の収益（予算を上回る予定）や宅地防災検討委員会の助成金の入金が予定されており、年度末收支は黒字になると考えられる。

5. メール審議決定事項

- (1) (主催) 12/4 栃木県グループ「地盤品質判定士による宅地診断のポイント」
- (2) (主催) 12/24 栃木県グループ「宇都宮市LRT(仮称)鬼怒川橋梁下部工(ニューマチックケーソン)現場見学」
- 内容を報告した。

6. 開催結果、進捗状況の報告（前回運営委員会以降、開催分を記載）

- (1) 10/4 特別講演会「高速道路における土工技術の変遷」参加者：57名【開催済】
- (2) 10/12 歴史遺産の地盤工学研究に関する研究委員会「歴史遺産の地盤工学研究に関するシンポジウム」【大型台風のため中止】
- (3) 10/18 千葉県グループ「亀山ダム見学会」【大型台風の影響ため中止】
- (4) 10/24 出前講座 清新公民館：地盤品質判定士神奈川県支部に依頼「相模原の地盤と自然災害」参加者：40名【開催済】
- (5) 10/31 第16回地盤工学会関東支部発表会（GeoKanto2019）論文投稿数：103編 参加者：約200名【開催済】
- (6) 11/9 共催：令和元年度”彩の国”市民科学フォーラム「情報で人の命を守る～防災・減災対策の未来のかたち～」参加者：95名【開催済】
- (7) 11/9 会員サービスグループ 地盤工学会創立70周年記念行事「第14回ソイルストラクチャーコンテスト」参加者：39名【開催済】
- (8) 11/16 神奈川県グループ「令和元年度地盤工学セミナー」参加者：37名【開催済】

- (9) 11/18 後援行事：令和元年度「アワード工法」技術講習会【開催済】
- (10) 11/20 「令和元年台風 19 号による関東地方の地盤被害調査報告会」参加者：76 名【開催済】
- (11) 11/19・11/25 後援行事：土工構造物の防災を考える技術セミナー【開催済】
- (12) 11/27 会員サービスグループ～2019 年度 昭和・平成を駆け抜けたベテランが令和に語り継ぐ～「ジオテク語りべ会」参加者：81 名【開催済】
- (13) 12/4 栃木県グループ勉強会「地盤品質判定士による宅地診断のポイント」参加者：17 名【開催済】
- (14) 12/24 栃木県グループ現場見学会「宇都宮市 LRT(仮称)鬼怒川橋梁下部工(ニューマチックケーソン)現場見学」
- (15) ~12 月末 会員サービスグループ・企画総務グループ 地盤工学会創立 70 周年記念行事「地盤の魅力を探せ！インスタフォトコンテスト」
- 内容を報告した。
- インスタフォトコンテストについては応募数を増やすために表彰内容を明示して、メール配信等で再度周知する。

7. グループ別の実施計画・進捗状況・その他報告事項

- (1) 会員サービスグループ 【別紙－20】
→ 「語りべ会」は次年度 2 回（講師：太田先生、國生先生）を予定。
-
- (2) 茨城県グループ 【別紙－】
-
- (3) 栃木県グループ 【別紙－21】
→ 県内土木遺産の分析を県 OB と検討している。
-
- (4) 群馬県グループ 【別紙－】
-
- (5) 山梨県グループ 【別紙－】
-
- (6) 千葉県グループ 【別紙－】
-
- (7) 埼玉県グループ 【別紙－22】
→ 1 月 29 日開催の「技術講演会」の共催について審議し、承認された。
-
- (8) 神奈川県グループ 【別紙－】
-
- (9) 研究委員会グループ 【別紙－23】
→ 2 件の研究委員会について期間満了に伴い、成果普及委員会への移行が承認された。
→ 次年度は新たに 2 件の公募を予定する。
→ 安田支部長より委員会の成果を出版物などで残した方がよいのではないかとの意見があり、グループ内で検討することとする。
-
- (10) 支部発表会グループ 【別紙－24】
→ 開催結果の報告があった。
→ スポンサー収入が昨年度より多かったがアンケート結果では技術紹介時間に「やや不満」との回答が 1/3 程度あり、今後の課題である。
→ 会場費についてはこれまでの実績から青少年枠が適用されることとなり、前年度より安価となった。
-
- (11) 企画総務グループ 【別紙－25】
→ 前述のとおり「若手技術者交流セミナー」については早めの開催として準備を進める。

8. その他

(1) 退会届

・なし

(2) 新入会

・なし

(3) 次回運営委員会開催日程

2020年2月21日（金）14：00～17：00

→ 内容を報告した。

→ その他に安田支部長から以下の報告があった。

- ① 海外研究者を迎えて開催予定の国際講演会については4月に開催予定として海野副幹事長を中心に準備中である。
- ② 2021年に迎える東日本大震災の10周年についてシンポジウムの開催を本部が主体で企画する予定であるがまだ具体的な動きが見られない。関東支部としては対象がある程度絞って早めに準備をしておく必要がある。
- ③ 中国支部・四国支部が創立60周年、九州支部が創立70周年を迎えて様々なイベントを開催している。関東支部は2024年に20周年を迎えるため、次年度以降にイベントの開催内容などを早めに検討して準備する。